

第一回 インターネットは単一の企業や組織が作ってきたプロダクトではない。異なるメーカー、たとえライバル企業同士の機器やソフトウェアであっても互いに通信できる必要があるし、異なる通信事業者間でも相互接続できる必要がある。机上の議論を突き詰めて隙のない仕様を作るのはではなく、ざっくりとした合意形成、いう通信事業者、メーカー、研究者、開発者の集うコミュニケーションがありて、そこで利害関係を持つ人々たちがワーキンググループを形成し、互いにコード」というものがある。机上の議論を突き詰めて隙のない仕様を作るのはではなく、ざっくりとした合意形成ができれば、あとは動かして動かしてみると、互いに通信し協調動作させてみれば、そこで重要な問題も知見も見つか



能登信晴が語る

炎天下の中、エアー遊具で遊ぶ子どもたちを見守るリブセンス社員



まつり宮崎で地域と繋がり 有給ボランティア 来年1月から

地鶏を燻す煙が立ち込め、威勢の良い掛け声が飛び交う屋台。宮崎市民が楽しみにしている「まつり宮崎」が8月17日・18日に開催された。宮崎放送（MRT）主催の祭りは、宮崎オフィスの目の前を走る大通りを歩行者天国にし、大々的に行われる。

り、地場企業との親交が深めれば、地場企業への繋がりも期待できる。

そんなM.R.T.よりお声掛けを頂き、地域貢献の意味合いも含んだ『まつり宮崎』のボランティア参加は今年で3年目になる。宮崎オフィスから23名が参加し、子供向けワーク遊具の監視と団扇配

ランティアは「休日返上で」が通例だったが、来年からは風向きが変わりそうだ。来年2020年1月より「9つの指針の一環である『有給ボーナンティア制度』が始まつたためだ。

今年は23名の参加がなったものの、「休日が満たされる」「予定が合わない」といった理由で参加しな

し同時に「制度が開始すれば積極的に利用し、来年は祭りボランティアに参加したい」という声もあり、施行前から新制度のニーズを実感できた。会社としてボランティア参加の機会が多い宮崎ではこの制度が光りそうだ。ボランティア参加の意義を明確にし、積極的に活用していきたい。

リクナビ問題 リスク露見

個人情報利用に明確な同意

リクナビが学生の推定辞退率を企業向けに販売していた「リクナビ問題」を受けて、運営元のリクルートキャリアは8月4日に当該サービスを廃止した。8月26日には個人情報保護委が初の是正勧告も行なっている。個人情報の活用に対する同意を得ていなかつたことに加え、利用目的の曖昧さも問題視された。



の配慮を行うことが必要である。

2018年よりEUで実施されている「一般データ保護規則(GDPR)」においては、個人情報を取得する際には利用目的の明記と同意の取得が義務付けられている。日本においても「個人情報保護法」により利用目的を特定することが求められており、個人情報の取得や利用に対しても最大限

感情和它保護我的毛毛雨

んは「インター
ンに参加
就活会議の中村宏道さ

した学生の60%が、そ
の企業への志望度が上が
ったと回答しているが、そ
中には「事業の説明だけ
で仕事のイメージが湧か
なかつた」など、イベン
トの質の低さが原因で志
望度が下がっていると見
受けられるものもある。学
生の声を伝え、採用活
動の質を向上させること
で、新卒市場はもつと良

個人情報についての関心は日に日に増している。個人情報・プライバシー情報を取得、活用することにおいては、前提として利用目的の明記と本人の明確な同意を適切に取得し、利用者が不信感を抱かないよう対応することが重要である。

広太郎が

細井広太郎書評

の旅を、自分のためではなく、子供のため、家族のために進み続ける。目的の国に着いても家族を呼べる保証はない、送還の危険もある。度々襲い掛かる苦難を読みながら、自分はここまで絶望を味わつたことはないと感じた。読んでいて「信じられない」と感じる現実が多い。いかに世の中の人人が苦難に苛まれ、命を落としている。世の中に貢献していくためには世界を知ると良い。生まれる場所が違えばこんな人生もあるのだ。五五〇万人の中の一人、ハーリムに密着したドキュメンタリーやが本書『シリア難民』にお勧めの一冊。

第二回 広太郎が読む

五五〇万人、社内で働く人の一万倍以上、シリア難民の数だ。我々が生活している今この瞬間にも世界では多くの人が苦難に苛まれ、命を落としている。世の中に貢献していくためには世界を知ると良い。トルコ市民の不満と反発が見える、難民問題は今も終わっていない。現代の難民問題のリアリティを把握するため